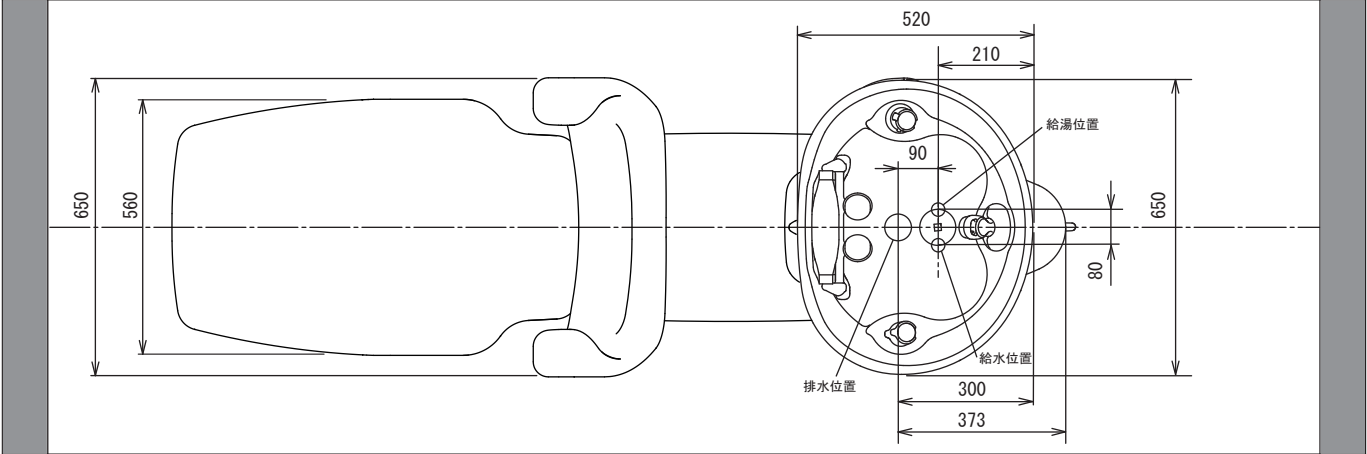


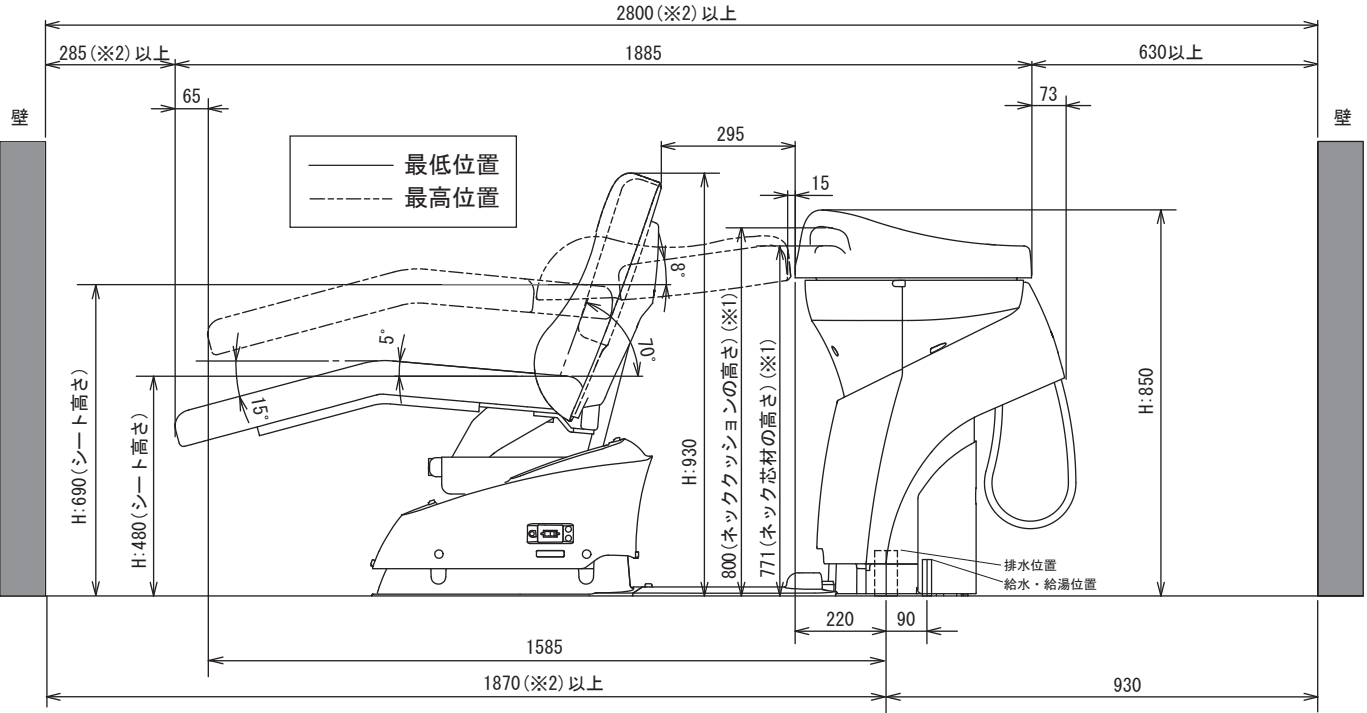
全体レイアウト図

ボウル本体：EX-ESYM[リア(Y U M E)ボウル]
チェア本体：SC-ESF[レッグレスト固定]

■上面図



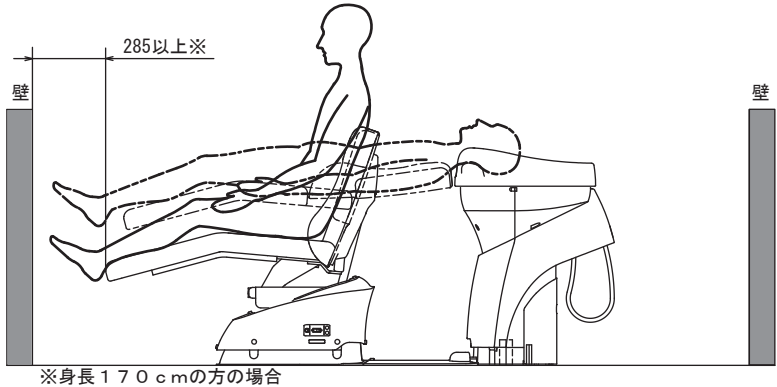
■側面図 ※下図の外形寸法は、ボウル本体、チェア本体の高さがH仕様です。



※1 上記の寸法は、製品により多少バラツキがあります。
※2 身長170cm程度の人が寝た場合の参考値です。長身者のお客様が来られる場合は、余裕を見てください。

	高さ仕様	ネッククッション高さ	ネック芯材の高さ
EX-ESYM	Hのみ	800	774

※ネッククッションの高さは製品によりバラツキがあります。



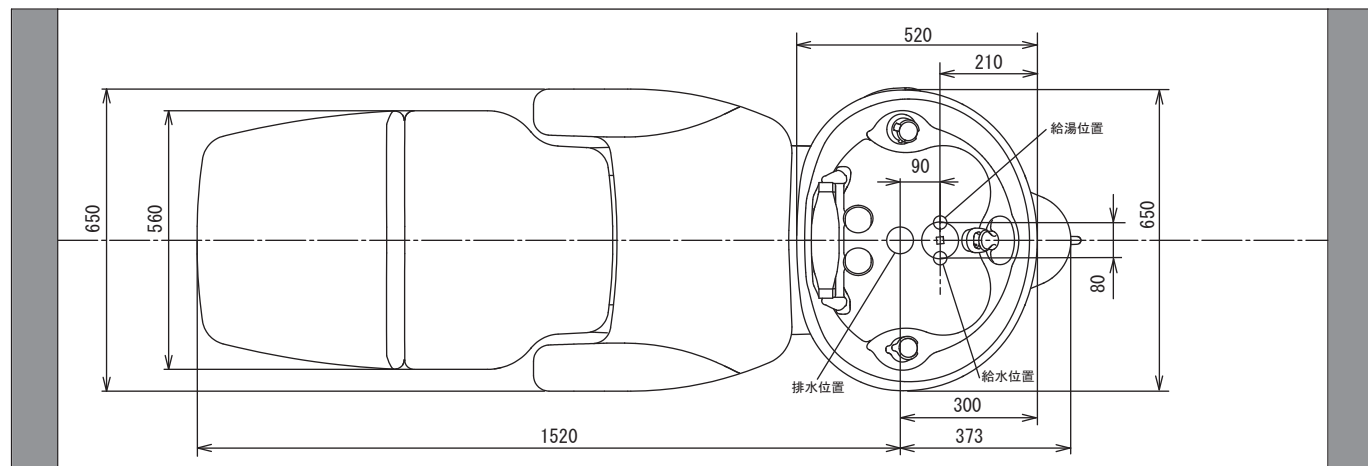
※身長170cmの方の場合

全体レイアウト図

ボウル本体：EX-ESYM[リア(YUME)ボウル]

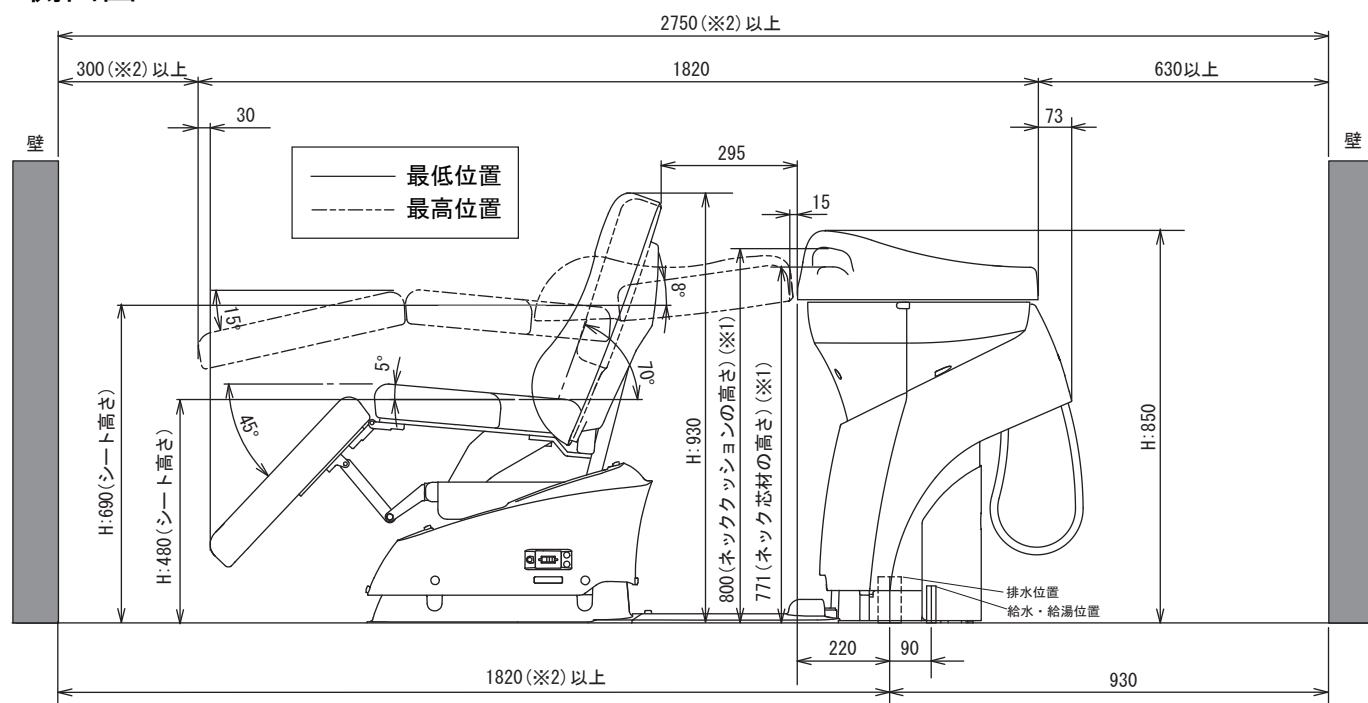
チェア本体：SC-ESL〔レッグレスト連動〕

■上面図



■側面図

※下図の外形寸法は、ボウル本体、チェア本体の高さがH仕様です。

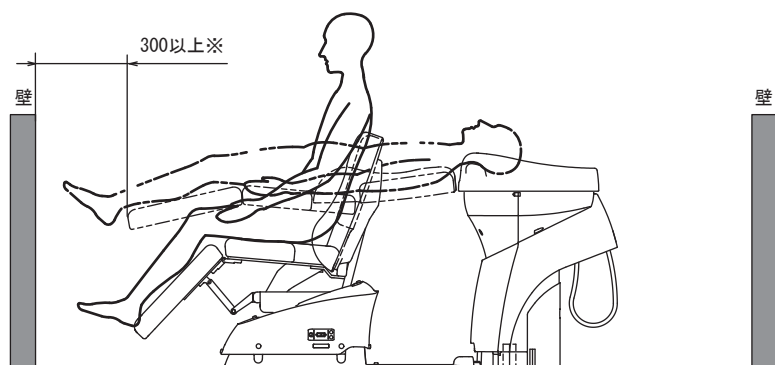


※1 上記の寸法は、製品により多少バラツキがあります。

※2 身長170cm程度の人が寝た場合の参考値です。長身者のお客様が来られる場合は、余裕を見てください。

	高さ仕様	ネッククッション高さ	ネック芯材の高さ
EX-ESYM	Hのみ	800	774

※ネッククッションの高さは製品によりバラツキがあります。



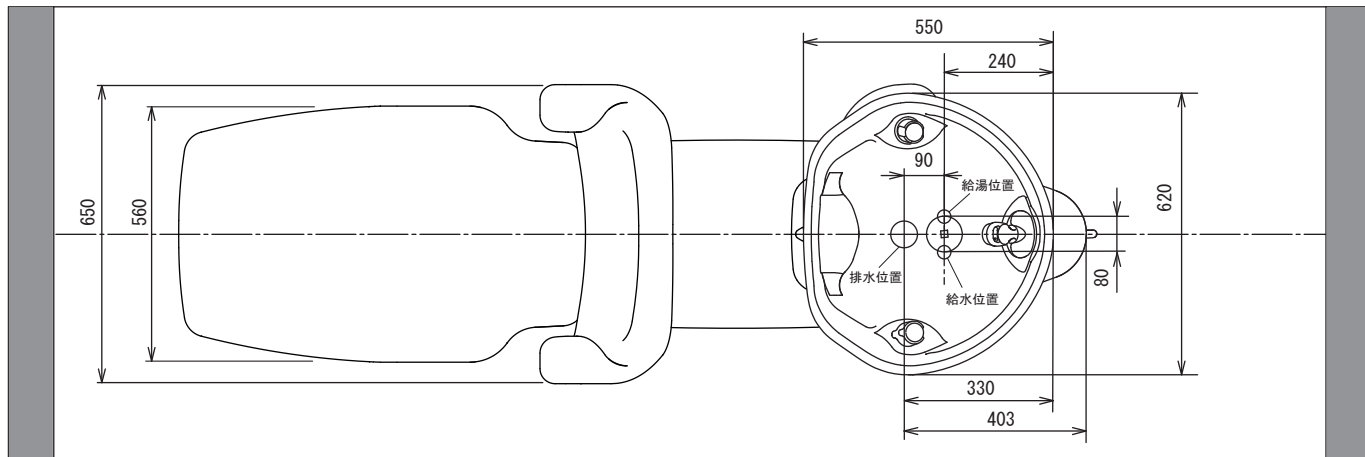
※身長170cmの方の場合

全体レイアウト図

ボウル本体：EX-ESSS[サイドボウル]

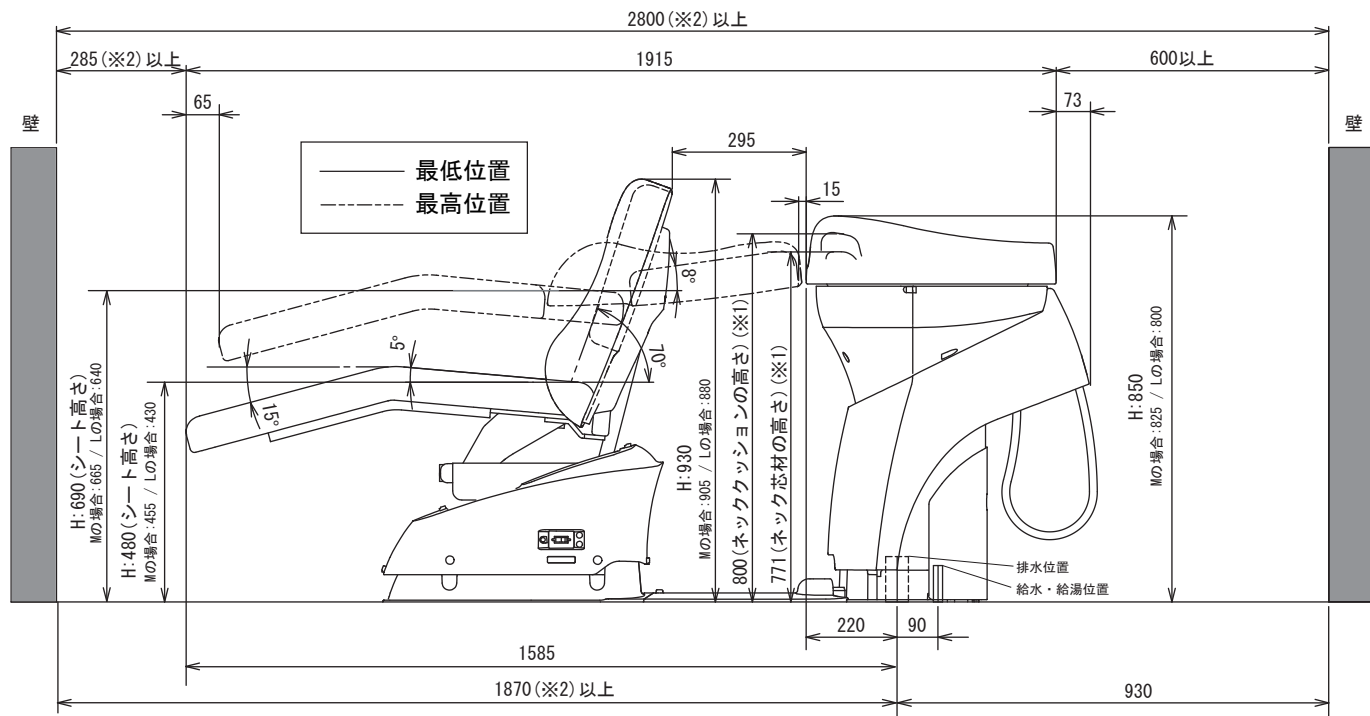
チェア本体：SC-ESF[レッグレスト固定]

■ 上面図



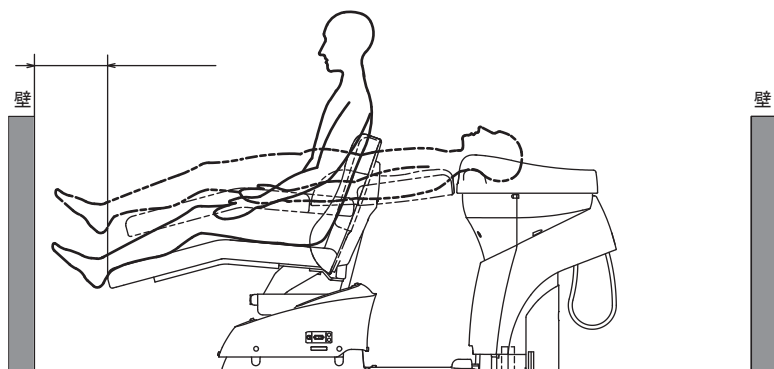
■側面図

※下図の外形寸法は、ボウル本体、チェア本体の高さがH仕様です。



※1 上記の寸法は、製品により多少バラツキがあります。

※2 身長170cm程度の人が寝た場合の参考値です。長身者のお客様が来られる場合は、余裕を見てください。



※身長170cmの方の場合

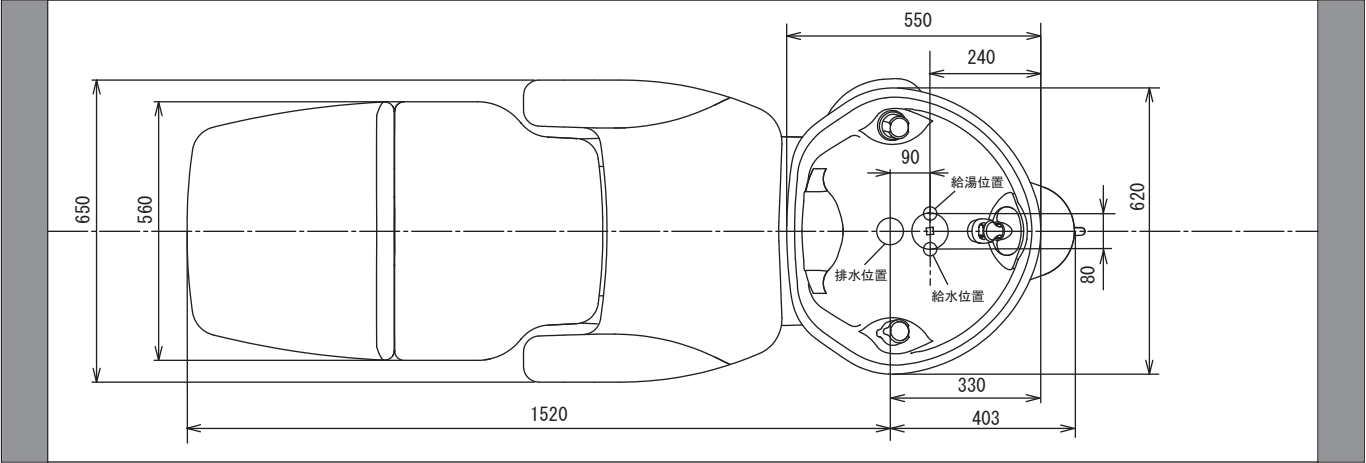
	高さ仕様	ネッククッション高さ	ネック芯材の高さ
EX-ESSS	L	750	721
	M	775	746
	H	800	771

※ネッククッションの高さは製品によりバラツキがあります。

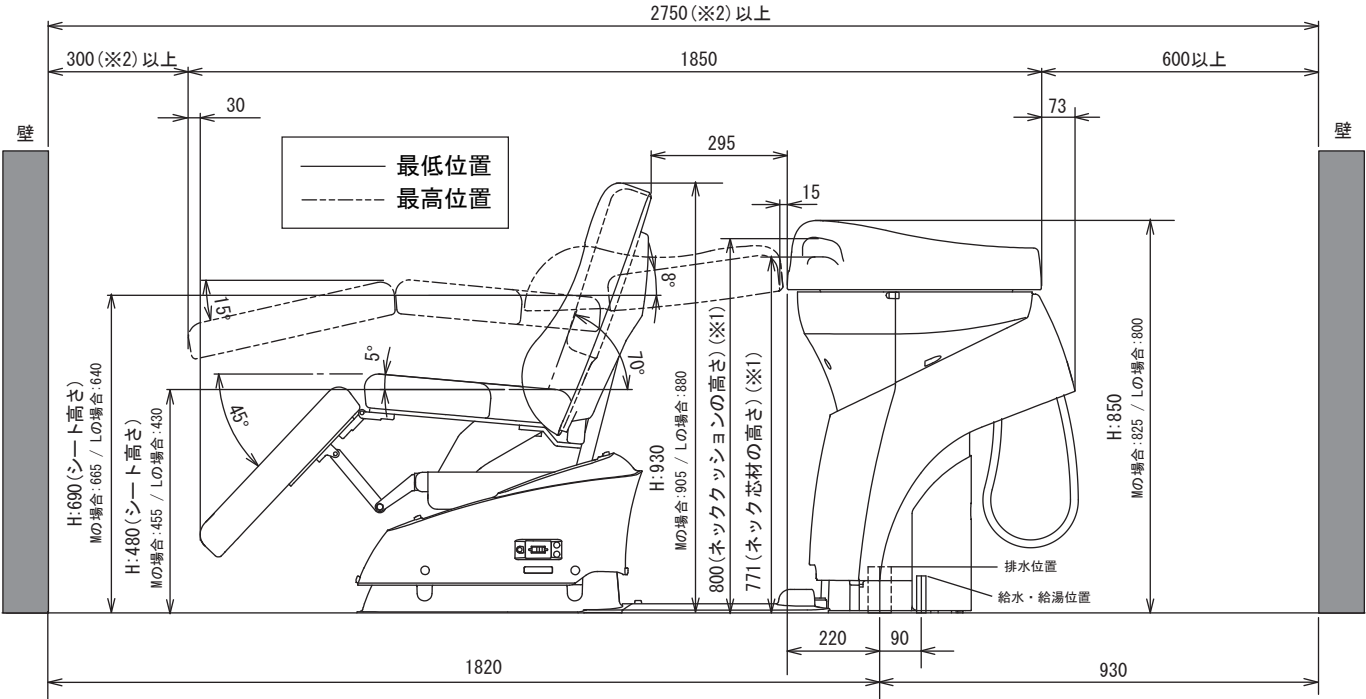
全体レイアウト図

ボウル本体：EX-ESSS(サイドボウル)
チェア本体：SC-ESL(レッグレスト連動仕様)

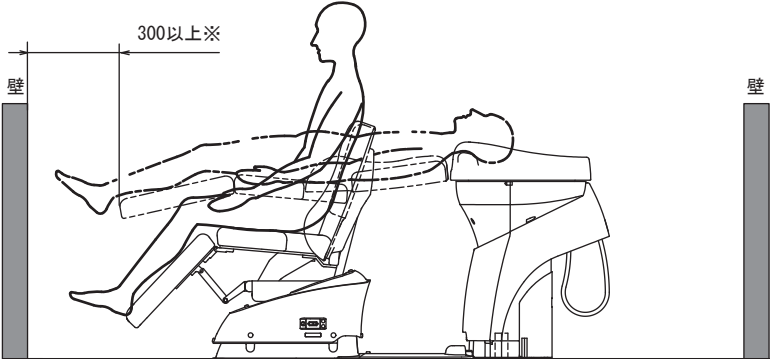
■上面図



■側面図 ※下図の外形寸法は、ボウル本体、チェア本体の高さがH仕様です。



※1 上記の寸法は、製品により多少バラツキがあります。
※2 身長170cm程度の方が寝た場合の参考値です。長身者のお客様が来られる場合は、余裕を見てください。



	高さ仕様	ネッククッション高さ	ネック芯材の高さ
EX-ESSS	L	750	721
	M	775	746
	H	800	771

※ネッククッションの高さは製品によりバラツキがあります。

■電源について

単相 100V 電源工事を行い、定格 15A 以上の 100V 用アース付専用コンセントを設置してください。
【※本体定格消費電力 290/350W（50/60Hz）、推奨コンセント：松下電工（株）WK3821

■接地工事について

万一の感電や落雷時における事故防止、および制御回路の耐ノイズ性を向上させるため、必ず本製品専用のアースを設けてください。

●D 種以上の接地工事を行う

電気機器には D 種以上の接地工事を行うことが法令で義務付けられています。
D 種接地工事を必ず実施してください。なお、接地工事は必ず電気工事士の資格を持った方が行ってください。

●次のようなところにはアース線をしないでください。

- 水道管：配管の途中が塩化ビニル管の場合、アースされません。
- ガス管：爆発や引火の危険性があります。
- 電話線・避雷針：落雷時、大きな電流が流れ危険です。



注意

電源プラグの取扱い

電源プラグは、ほこりの付着がないことを確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因となります。

電源コードの取扱い

電源コードに無理な力をかけたり、加工、ねじり、曲げなどしないでください。
また重い物を乗せたり、挟み込んだ場合、電源コードが破損し、感電や火災の原因となります。

コンセントの取扱い

コンセントは単独で使用し、必ず 3P コンセントを使用してください。
たこ足配線にすると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

ブレーカーおよびヒューズの取扱い

ブレーカーおよびヒューズは必ずコンセントごとに準備し、ライン側の線は黒色を、ニュートラル側の線は白色を使用し、正しく接続してください。間違えて設置すると、感電や機器の故障の原因となります。

点検するときは電源プラグを抜く

Y U M E E S P O I R 機器本体内部の点検や調整を行うときは、電源プラグを抜いてから行ってください。
通電状態で電気部品などに触れると感電の原因になります。

■床面について

- 床面材料・床面仕上げ材は、防水材もしくは防水加工したものを使用してください。
- 床面は必ず水平を確保してください。
- 床面は、取付部分に凹凸がないよう平滑にしてください。
- 配管立上について

〔配管仕様〕

給湯・給水	R c 1 / 2 “
排水	V U 4 0 もしくは V P 4 0

〔立ち上げ寸法〕 ※ただし、リア (Y U M E) ボウルは H 高さのみ

床下配管仕様			
高さ仕様	L	M	H
給湯・給水	5 0 mm	7 5 mm	1 0 0 mm
排水	5 0 mm	7 5 mm	1 0 0 mm

- 床仕上げがタイル等の素材の場合、Y U M E E S P O I R 機器本体取付時のボルトの締め込みにより、「割れ」が発生します。この場合、製品固定位置図および型紙を参考に、床と接触している取付部分は合板、モルタル等の素材に変更してください。
チェア本体は、ベース全面が床と接触していませんので、施工時は注意してください。

- 床面には以下の強度が必要です。

木製床の場合	ベニア厚は 3 0 mm 以上 (1 5 mm 板 2 枚重ね以上) です。
モルタル床の場合	モルタル厚は 5 0 mm 以上です。
特殊な床 (石張り等) の場合	設置位置に上記の強度を確保した土台が必要です。

■漏水対策について

- 階上設置される場合は、必ず防水処置（防水工事、ステンレス鋼板製等のパンの設置、もしくは漏水センサーの設置等）を行ってください。
- 配管立ち上げ部の開口部と配管との隙間は必ずコーキング剤等でふさいでください。

■配管施工について

ここに書かれた事項は、配管施工に関する重要な内容です。
この内容を十分にご確認の上、正しい配管工事を行ってください。

- 本製品を設置されるときは、『タカラグループ給排水設備工事標準』、および本書の『配管施工上の注意』に基づいて配管施工を行ってください。注意を怠って配管されますと、ミキシングが満足に働かず、一定温度のお湯が得られないことがあります。
- 本製品は室内専用です。設置は必ず室内に行ってください。

■配管施工上の注意

- 給水（一次給水）配管
 - ・市水道直圧管の場合、各水道局指定の工事店に依頼し、その地域の“水道局施工基準”等の法規に従って工事を行ってください。
 - ・市水道直圧管以外（高架水槽下り給水管等）の場合、その地域の“水道局施工基準”等の法規に従って工事を行ってください。
- 給水配管には錆の発生する管材料は使用しないでください。
原則としてVU40/VP40管または、その地域の指定材料をご使用ください。
- 給湯配管には原則として脱酸銅管を使用してください。
- 給湯・給水配管は原則として同径同圧にしてください。
- 管の切断面は必ずリーマをかけてバリ取りをしてください。
- 空気溜りの原因となる逆U字配管（鳥居配管）は避けてください。
- 給湯・給水管内の配管くず・ゴミ・砂・油はトラブルの原因になりますので、必ず除去してから配管接続をしてください。
- 配管接続を行い、通水テスト後にストレーナーおよびシャワーヘッドの掃除をしてください。
- 排水管の勾配は、排水管径φ75未満は1/50以上、φ75以上は1/100以上にしてください。
- 湯・水を逆配管しないでください。トラブルの原因となります。
- 給湯機からの給湯配管は、抵抗を少なくするため最短距離にしてください。
長くすると温度変化やお湯の出が悪くなる原因になります。
- 配管後は、必ず保温材を巻いてください。
- 温水ボイラーの配管について
 - ・給湯本管・給水本管は原則として同径同圧にしてください。
 - ・温水ボイラー設置については、必ず専門業者に施工依頼してください。
- 器具にヘアキャッチャーが内蔵されています。

使用条件

■使用給湯・給水条件

使用水	・上水道水（飲料不可の井戸水やサビ・砂を含んだ水は使用しないでください。） ・硬度が80ppm以上の場合は、ボウル本体へのスケール詰まりを予防するため、軟水器による処理を行ってください。また、飲料可能な井戸水の場合、シャンプー時に泡が立ちにくい場合がありますので、同様に軟水器による処理を行ってください。
給湯・給水圧力	・0.1～0.4MPa（1～4kgf/cm²）の範囲にしてください。また、複数台での使用の場合でも0.1MPa（1kgf/cm²）以下にならないようにしてください。 ・給水圧力≧給湯圧力にしてください。 ・給湯圧力と給水圧力の差は、0.2MPa（2kgf/cm²）以内にしてください。
機器への給湯温度	・給湯温度は80℃以下にしてください。 ・使用シャワー温度より10℃以上高くしてください。
給湯機	・給湯機は、理美容サロン専用の暖流システムのご使用をおすすめします。その場合の施工方法は、『タカラ同時給湯システム暖流工事の手引き』を参照してください。 ・瞬間湯沸かし器をご使用の場合は、16号以上を使用してください。（洗髪能力は瞬間湯沸かし器1台につき、YUME ESPOIR 機器本体1台です。） ・貯湯式ボイラーをご使用の場合は、貯湯式ボイラー説明書を参照してください。 ・給湯には蒸気を使用しないでください。

製品固定位置図

床面仕上げがタイル等の素材の場合、シャンプーユニット取付時のボルトの締め込みにより、「割れ」が発生します。
この場合、取付部分は合板、モルタル等の素材にしてください。

- ①ボウルベースおよびチェアベースの外形ラインに沿って、内側のタイルまたはガラスをはく離します。
このはく離作業は入念に行ってください。はく離が見える可能性があります。
- ②はく離した部分の内側にコンパネを敷きます。

コンパネは、周囲のタイル、ガラスよりも高くなるようにしてください（2～3mm以内）。

